

水戸済生会総合病院を受診・入院された患者様

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせにお問い合わせください。

研究課題名	末梢挿入式中心静脈カテーテル挿入による妊娠管理の実態調査
研究責任者	仲田 幸
研究の目的	近年、当院産科では、静脈路確保が難しい事例や長期持続点滴が必要な患者様に対して末梢挿入式中心静脈カテーテル(以下、PICC)挿入が進んでおります。当院は総合周産期母子医療センターであることから、今後も皆様のように持続点滴が必要となる妊婦様が多いと想定されます。そこで、本研究は、これまでPICCを挿入された方々の思いを伺い、調査することで、今後の医療・看護の質向上につなげることを目的としております。
調査データの該当期間	2019年2月より2022年4月まで
研究の方法(研究対象者)	2019年2月から2022年4月の期間に総合周産期母子医療センターに入院しPICCを挿入した患者様
研究の方法(研究のデザイン)	実態探究型、後方視的研究
研究の方法(使用する情報)	電子カルテの診療録により、年齢、主疾患、PICC挿入目的、持続点滴を開始した妊娠週数、PICC挿入開始と抜去の妊娠週数、留置日数、挿入中の合併症有無、抜去理由を集計します。また、「PICCを挿入し管理した際のお気持ち」に関するアンケート調査を10月中旬より郵送させていただく予定です。
個人情報の取り扱い	使用する情報から対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は院内・院外発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反	臨床研究における利益相反(COI: Conflict of Interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断に歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬会社や医療機器メーカーからの研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。 なお、本研究の利益相反については倫理委員会で審査され、適切に管理されています。
問い合わせ先	水戸済生会総合病院 〒311-4198 茨城県水戸市双葉台3丁目3番10 TEL:029-254-5151(代) 研究責任者 総合周産期母子医療センター 助産師 仲田 幸